

## 西洋占星術 基礎講座

ホロスコープを自在に、自分の言葉で読めるようになる

# ■もくじ

はじめに... 8

占星術を学ぶにあたってのお願いと、知っておいていただきたいこと ... 10

## 第1章 西洋占星術とホロスコープの全体像をつかもう... 13

西洋占星術とは何か ... 14

西洋占星術の歴史ー古代からの知恵の積み重ね ... 14

現代における西洋占星術の位置づけ ... 15

いろいろなホロスコープのバリエーションと、本講座の目標 ... 16

①出生図（ネイタルチャート） ... 16

②トランジット図・プログレス図（発展講座で学ぶ内容） ... 18

③シナストリー図とコンボジット図（相性講座で学ぶ内容） ... 21

チャートの種類まとめ... 24

ホロスコープってこんなものー地球からの視点で見た天空の地図...24

なぜ円形なのか... 24

ホロスコープの各部名称を知ろう ... 25

各要素の詳しい説明 ...26

天体の「住所」の読み方 ... 28

天体の度数の読み方 ... 28

逆行（リトログレイド）とは ...30

ホロスコープの構成要素についてざっくり予習しよう ... 30

ホロスコープの構成要素一覧早見表 ... 31

ホロスコープの読み方のイメージ... 35

## 第2章 サイン

### 天体にキャラクターを与えるエネルギー ... 37

サインとは何か... 38

牡羊座（Aries）「私は存在する」... 39

牡牛座（Taurus）「私は持つ」... 44

双子座（Gemini）「私は考える」... 49

|                   |               |    |
|-------------------|---------------|----|
| 蟹座 (Cancer)       | 「私は感じる」 ...   | 54 |
| 獅子座 (Leo)         | 「私は創造する」 ...  | 59 |
| 乙女座 (Virgo)       | 「私は分析する」 ...  | 64 |
| 天秤座 (Libra)       | 「私は均衡をとる」 ... | 69 |
| 蠍座 (Scorpio)      | 「私は欲する」 ...   | 74 |
| 射手座 (Sagittarius) | 「私は探究する」 ...  | 79 |
| 山羊座 (Capricorn)   | 「私は使う」 ...    | 84 |
| 水瓶座 (Aquarius)    | 「私は解決する」 ...  | 89 |
| 魚座 (Pisces)       | 私は信じる ...     | 94 |

サインの区分について ... 99

- ①ポラリティ (二区分) ... 99
- ②モダリティ・クオリティ (三区分) ... 100
- ③エレメント (四区分) ... 101
- ④オリエンテーション (志向) ... 102

## 第3章 ハウス

### 天体の力が発揮される領域 ... 104

ハウスとは何か... 105

ハウスの区切りの見方 ... 107

|        |                       |     |
|--------|-----------------------|-----|
| 第1ハウス  | 「自分自身・人生の入口」 ...      | 109 |
| 第2ハウス  | 「所有と才能・価値の領域」 ...     | 111 |
| 第3ハウス  | 「学びとコミュニケーションの領域」 ... | 113 |
| 第4ハウス  | 「家庭と心の土台の領域」 ...      | 116 |
| 第5ハウス  | 「創造性と喜びの領域」 ...       | 118 |
| 第6ハウス  | 「仕事と健康・日常習慣の領域」 ...   | 120 |
| 第7ハウス  | 「対人関係の領域」 ...         | 122 |
| 第8ハウス  | 「共有と変容の領域」 ...        | 124 |
| 第9ハウス  | 「精神・高度な学びの領域」 ...     | 127 |
| 第10ハウス | 「社会と職業・自己実現の領域」 ...   | 129 |

|        |                     |     |
|--------|---------------------|-----|
| 第11ハウス | 「仲間と未来・理想の領域」 ...   | 131 |
| 第12ハウス | 「無意識・癒し・見えない領域」 ... | 133 |

ハウスの強弱について... 135

天体の特定のハウスへの集中... 136

ハウスと志向の関係... 137

COLUMN 1 ハウスの分割のしかた ... 138

## 第4章 天体とその他の感受点

### 「その人らしさ」を作るパーツたち... 140

天体とは何か... 142

太陽(Sun) 表の顔・社会的な顔 ... 144

月(Moon) 素の顔・感情のパターン ... 150

水星(Mercury) 思考学習・コミュニケーション能力 ... 156

金星(Venus) 愛と魅力を表現する能力・財産を築く能力 ... 160

火星(Mars) 自己主張する・勝ち取る能力 ... 166

木星(Jupiter) 物事を拡大・発展させる能力 ... 169

土星(Saturn) 自分自身を律し、抑制する能力 ... 173

天王星(Uranus) 独自性を打ち出す能力 ... 177

海王星 (Neptune) 深遠な想像力と直感を発揮する能力 ... 181

冥王星(Pluto) 根底から生まれ変わる能力 ... 186

キロン(Chiron) 心の傷を癒すための能力 ... 190

アングル（4つの重要軸）について ... 195

アセンダント ... 197

ディセンダント ... 199

MC（メディウム・コエリ） ... 202

IC（イムム・コエリ） ... 205

その他の重要な感受点 ... 208

ノースノード ... 208  
サウスノード... 210  
パート・オブ・フォーチュン ... 212

## 第5章

### アスペクト～天体同士のかかわり ... 214

アスペクトとは何か... 215  
ノーアスペクトについて... 215  
アスペクトのルール ..... 216  
オープン（許容度）... 218  
オープンの誤差の度合いによるアスペクトのエネルギー強弱 ... 219

コンジャンクション(0度) ... 220  
セクスタイル(60度) ... 223  
スクエア(90度) ... 225  
トライン(120度) ... 228  
クインカンクス(150度) ... 230  
オポジション(180度) ... 233

アスペクトの強力度 ... 235  
アスペクトグリッドの見方 ... 236  
アスペクトグリッドの読み方手順... 238  
アスペクトのワークのやりかた ... 239  
キーワードを意識するコツ... 241

COLUMN 2 アスペクト読むときのキーワードの使用範囲  
（アスペクトはどこまで読むべきか？） ... 243

## 第6章 リーディング実践

### ホロスコープを実際に読んでみよう ... 248

出生時間不明の場合の対応 ... 250

リーディングの手順・8つのステップ ... 251

リーディングの流れを見てみよう ... 254

【実例1】明石家さんまさん(1955年7月1日 PM18:00 和歌山県)... 255

【実習1】黒柳徹子さん(1933年8月9日 AM09:00 東京都) ... 268

【実習2】所ジョージさん(1955年1月26日 AM07:04 埼玉県) ... 278

【実例2】タモリさん(1945年8月22日 出生時間不明 福岡県) ... 292

【実習3】松岡修造さん(1967年11月6日 出生時間不明 東京都) ... 303

【実習4】ヒカキンさん(1989年4月21日 出生時間不明 新潟県) ... 316

ご相談にそったリーディングをしてみよう ... 331

【CASE1・例】玲奈さんの場合—恋愛のご相談 ...332

【CASE1】玲奈さんの場合 村上のリーディング例 ... 335

【CASE2・実習5】透さんの場合—仕事のご相談 ... 351

【CASE2・実習5（解説）】透さんの場合—仕事のご相談 ... 354

占星術家として大切にすること ... 368

共通課題に挑戦してみよう ... 370

課題の提出方法について ... 371

【共通課題】「綾子さんのご相談にそってリーディングしてみよう」 ... 372

自由課題について ... 387

## 付録

**相談別・クライアント別着目ポイント早見表・他 ... 388**

付録1 相談テーマ別着目ポイント早見表... 389

|     |                             |     |
|-----|-----------------------------|-----|
| 付録2 | クライアント年代別着目ポイント早見表...       | 404 |
| 付録3 | 相談テーマ別最初の一言フレーズ集...         | 409 |
| 付録4 | よくクライアントに質問されるポイントQ&A...    | 411 |
| 付録5 | リーディングチェックリスト セッション前の確認表... | 414 |
| 付録6 | ホロスコープ作成ツールのご紹介...          | 417 |

## **おわりにー発展講座にむけて ... 419**

### **学習に向けての事前準備**

ワークで使用するご自分のホロスコープは、Googleドライブで共有する基礎講座受講生フォルダ内の「Astro.comの使い方（PDF）」を見てご自身で作成していただくことになります。本格的に学習に入る前に、アカウントとご自分のホロスコープを作成しておき、いつでも参照できるようにしておきましょう。

## はじめに

はじめまして。この講座をご受講くださり、本当にありがとうございます。  
あなたは今、どんな気持ちでこの文章を読み始めていますか？

「西洋占星術って、なんだか面白そう」「自分のホロスコープを読んでみたい」「人の気持ちや性質をもっとよく理解したい」.....そんなさまざまな想いが、あなたをここまで連れてきてくれたのではないのでしょうか。

ホロスコープは、あなたという人間の「設計図」です。

10の天体、12のサイン、12のハウス、そして天体同士の角度。この世に生まれた瞬間の空の星々の配置を円形の図に書き写したホロスコープには、その人の性格・才能・得意なこと・苦手なこと・人間関係のパターン・お金との関わり方・天職へのヒントなどなど.....本当にたくさんの情報が詰まっています。

しかし、それは「あなたはこういう人間だ」と決定するものではありません。あなたの中に眠っている「可能性」「傾向」「テーマ」を照らし出してくれる、智慧のとし火のようなものです。

この講座の目標はシンプル。それは

**「ホロスコープを、迷いなく自分で読めるようになること」**です。

「難しそう」「記号がいっぱいで意味がわからない」「どこから手をつければいいの？」.....そんな不安を感じている方でも、この講座を最後まで学んでいただくことで、自分や大切な人のホロスコープを読み解く力を身につけていくことができます。



当講座は、「難解」と言われがちな西洋占星術をできるだけやさしく、それでいて入門レベルだけにとどまらない内容にすることで、はじめて占星術を学ばれる方でもすんなり中級者になることができるよう、工夫をこらしています。

ホロスコープは一見、難しい記号や数字が描き込まれた無機質な図にしか見えないかもしれません。ですがホロスコープを形作るいくつかの要素についてきちんと学び、理解を深めると、驚くほどゆたかな色彩をおびたメッセージが、無限に浮かび上がってきます。

そしてそこから得られるインスピレーションは、一生涯にわたりあなたを支えてくれることでしょう。

また、テキスト内容も旧版から大幅に増補改訂し、情報量・実践例ともに100ページ強を加筆、内容を充実させた最新版の第4版です。一方で、かねてよりご好評いただいていた、別冊ワークを使用しての「読んで学ぶだけでなく、『実際に手を動かして読んでみる』実習形式」はそのまま。ぜひ自分のホロスコープや周囲の人のホロスコープを手元に置きながら、楽しく学んでみてください。

さあ、ホロスコープという名のあなただけの設計図を、一緒に読み解いていきましょう。

## 西洋占星術を学ぶにあたってのお願いと、知っておいていただきたいこと

本格的に学びに入る前に、いくつか大切なことをお伝えさせてください。

こちらは西洋占星術に限った話ではなく、占い全般の捉え方・付き合い方にも通じるお話になります。

### 1. 星は「可能性」を示すもので、「運命」を決定するものではありません

占星術を学びはじめると、「では、わたしの運命はどうなるの？」という気持ちになることがあります。ですが、ホロスコープはあなたの人生や運命を固定的に決めてしまうものではありません。

たとえばホロスコープに「転職しやすいとされる配置」があったとしても、それは「必ず転職する」という意味ではなく、「転職というテーマを意識しやすい傾向にある」という情報です。その傾向を知った上で、どう行動するかを選ぶのは、常にあなた自身となります。

占星術はあくまでコンパスです。方角は示してくれますが、実際にどの道を歩くかは、最終的にあなたが決めること。この前提を常に胸に刻んで学んでいただけると、占星術がより豊かなツールとして機能します。

### 2. 一般的な「星座占い」とは根本的に異なります

雑誌やテレビで目にする「星座占い」は、太陽がどの星座にあるか（いわゆる「私は〇〇座！」というもの）だけをもとにした占いです。12種類の分類で80億以上の人々を語ろうとするもので、それ自体は楽しいエンターテインメントですが、西洋占星術の本来の姿とはかなり異なります。

本格的な西洋占星術は、あなた一人のためだけに作られたオーダーメイドの設計図です。同じ日に生まれた人でも、生まれた時間や場所が違えばホロスコープはまったく異なります。世界に二つとない、あなただけの図があるのです。

### 3. 「良い配置」「悪い配置」という考え方は手放しましょう

「スクエア（90度）はハードアスペクトだから悪い」「トライン（120度）はソフトアスペクトだから良い」……占星術を学び始めると、こうしたいわゆる「吉凶」の基準で配置を判断しがちになります。

しかし実際には、ハードなアスペクトがあるからこそ磨かれる才能があったり、ソフトなアスペクトばかりでかえって努力の機会を失っているケースもあります。すべての配置には光の面と影の面があり、どちらが良い・悪いと一概に言えるものではありません。

ホロスコープを読むとき、「まるきりダメな配置」というものはありません。ただ、それぞれの配置に適したエネルギーの使い方や注意点がある、ととらえましょう。

### 4. 学んだ知識は「決めつけ」に使わないでください

ホロスコープが読めるようになると、つい「あの人は蠍座だから、きっと嫉妬深いんだ」「火星と土星がスクエアだから、この人は短気なんだ」と、知識を人への「レッテル貼り」に使いたくなることがあります。

ですが、ホロスコープはあくまでも「傾向」や「可能性」を示すもの。まずは優先すべきは、あくまでも目の前の人の実際の言動や感情です。ホロスコープはその理解を深める補助ツールとして使いましょう。

## 5. 当人の同意なしにリーディングを押し付けしないでください

占星術に限らず、占術を学ぶと自分だけでなく、周囲の人を占ってみたいくなるものです。しかし、そのリーディングから得た情報を同意を得ないで本人に共有するのは、その方にとって「強制」になりえます。個人的な勉強の範囲で心に留めておくならかまいませんが、むやみにアウトプットするのはやめましょう。「占いはそれを必要とする人に対してだけ行う」のが鉄則です。

## 6. このテキストの使い方にそって学習してください

西洋占星術は、一通りの基礎知識を学んで初めて、それぞれの項目が生き生きとつながっていくところがあります。そのため、最初の最初からひとつひとつの項目を完璧にしてから次に行こうとすると、面白さに辿り着く前に十中八九挫折します。それではもったいありません！

なのでまずは一度このテキストを、さーっと通読してください（ここではワークはまだやらなくて大丈夫です）。

1周するとなんとなくの知識ベースができますので、次の2周目からしっかりと精読しながら進めていただくことをおすすめします。この段階でワークにも取り組んでいきましょう。

各章は次の章の理解の土台になっています。特に第6章の「リーディング実践」は、第1章～第5章で学んだ知識をすべて使いますので、2周目からはぜひ前の章をしっかりと理解してから進んでください。各章には「確認ポイント」や「ワーク（実習）」が含まれています。面倒に感じるかもしれませんが、手を動かして実際にやってみることで、知識が生きた技術に変わるのを実感していただけるはず。時間がかかってもかまいませんので、ぜひ丁寧に取り組んでくださいね。

# 第1章

## 西洋占星術とホロスコープの全体像をつかもう

西洋占星術とは、人がこの世に生まれた瞬間の天空の星々の配置を「ホロスコープ」という図に写し取り、その人に秘められたキャラクターや資質・才能、運勢を読み取っていく...という占術です。起源は古代バビロニアで、やがてエジプト、ギリシャ、ローマを経て、さまざまな形で発展していきました。

古くは国や王族などの未来を知るために使われており、リーディングのスタンスも個人の運勢を「占断（＝決めつける）」する...といったものでしたが、長い歴史の中で衰退と復興を繰り返すなかで、「自分の運命を受け入れ、あきらめるためのツール」ではなく、

「自己発見のためのツール」

として見直されてきた流れがあります。

まずはざっくりと西洋占星術のしくみを押さえ、学習することでホロスコープからどんなことを知ることができるようになるかを見てみましょう。

## 西洋占星術とは何か

西洋占星術とは、人がこの世に生まれた瞬間の天空の星々の配置を「ホロスコープ」という円形の図に写し取り、その人に秘められたキャラクターや資質・才能・運勢を読み取っていく占術です。

英語では「Astrology（アストロロジー）」と呼ばれ、「Astro（星）」と「Logy（学問）」を組み合わせた言葉となります。文字通り「星の学問」であり、数千年の歴史を持つ人類最古の知的システムの一つとなります。

## 西洋占星術の歴史ー古代からの知恵の積み重ね

占星術の起源は、今から約4、5,000年前の古代バビロニア（現在のイラク周辺）にまで遡ります。当時の人々は、星の動きと地上の出来事（干ばつ・洪水・戦争・王の死など）の間に一定の法則があることに気づき、星を観察し記録することを始めました。

その後、古代エジプトでは黄道12サイン（いわゆる12星座）の体系が完成し、ヘレニズム期のギリシャではプトレマイオスによる「テトラビブロス」（2世紀頃）が占星術の理論的基礎を確立しました。これが現在の西洋占星術の直接的な源流です。

かつて中世ヨーロッパでは、占星術は大学で正式に教えられる学問であり、医学・天文学・哲学と深く結びついていました。歴史上の多くの偉人ーガリレオ・ガリレイもケプラーも一実には占星術師でもあったのです。

| 時代           | 主な展開                        |
|--------------|-----------------------------|
| 紀元前3000年頃    | 古代バビロニアで星の観察・記録が始まる         |
| 紀元前500～300年頃 | ヘレニズム期間のエジプトで12サインの体系が統合・発展 |
| 2世紀          | プトレマイオスが「テトラビブロス」を著す        |
| 中世ヨーロッパ      | 大学の正式科目として占星術が教えられる         |
| 19～20世紀      | 心理占星術が発展（ユングの影響）            |
| 現代           | 自己理解・コミュニケーションのツールとして世界的に普及 |

## 現代における占星術の位置づけ

現代の西洋占星術は「単なる占い」にとどまらず、自己理解のツールとして多くの人に活用されています。

著名な心理学者カール・グスタフ・ユングは、占星術に強い関心を持ち、「占星術は心理学的な洞察の宝庫だ」という言葉を残しています。実際にユングは患者のホロスコープを研究に活用しており、これが「心理占星術」という現代的な潮流の礎となりました。

また、2019年に行われた米国の調査（Pew Research Center）では、アメリカの成人の約29%が「占星術を信じる」と答えており、特に18～29歳の若い世代では37%に達しています。占星術は世界的に見ても、多くの人が実生活に取り入れているジャンルなのです。

## いろいろなホロスコープのバリエーションと本講座の目標

ホロスコープと一口に言っても、いくつかの種類があります。まず全体像を把握しておきましょう。

### ①出生図（ネイタルチャート）

**用途：性格や素質、才能を知る**

最も基本となるのが出生図（ネイタルチャート）で、これを読めるようになることがこの講座のゴールです。

出生図とは、その人が生まれた瞬間・生まれた場所の上空に、天体がどのように散らばっていたかを地球からの視点で書き写した図で、次の3つの情報から作成します。

#### ①生年月日

#### ②出生地（市町村まででOK）

#### ③出生時刻（不明の場合は暫定で正午で作成）

まずは出生図を読めるようになることが、この講座の目標です。出生図は占星術リーディングのすべての土台であり、これが読めてはじめて他のすべての技法が活きてきます。



NATAL CHART  
Midori Murakami  
28 May 1983  
6:58  
Tokyo, Japan  
35 N 42 139 E 46  
Standard Time  
Time Zone: 9 hours East  
Tropical Placidus



## ②トランジット図・プログレス図（発展講座で学ぶ内容）

**用途：時期的なテーマとタイミングを探る**

例）「いつごろ何が起きるか」「いつごろどんな心境になるか」

出生図単体では「資質や才能」を見ることはできますが、タイミングをはかること...たとえば「いつごろどんなチャンスがおとずれるか」や、「いつごろどんなことに気をつければよいか」、「いつごろどんな心境になりやすいか」といったことまでは読み取れません。

そこで②の出番ですが、これらは出生図を基準として、現在の天体の動き（トランジット）や時間経過とともにゆっくり進む架空の天体の動き（※プログレス）を重ねることで、「今の時期のテーマ」を読み取る技法です。

トランジット図は「経過図」、プログレス図は「進行図」ともいいます。トランジットとプログレスの違いは、トランジットが純粹に今現在の天体配置が出生図に及ぼす影響を示すチャートであるのに対し、プログレスは当人の今現在の内的成長の状況や心境を示す架空のチャート（出生図をもとに一定の方法で算出するチャート）である点です。

合わせて見ることで、「今現在どんな外的影響を受けているか・内面的にどんなことにフォーカスしているか」がわかります。これらが読めるようになるとリーディングの幅が一気に広がり、占星術を通したいいわゆる「未来予測」ができるようになります。

※プログレスの算出法はいくつかありますが、主に「1日1年法（セカンダリー・プログレッション）」という生後の1日の星の動きを人生の1年に見立てる方法を用います。発展講座で学習するものです。

## ■トランジット図の例

Inner Wheel:  
Midori Murokami  
Tokyo, Japan  
Time Zone: 9 hours East

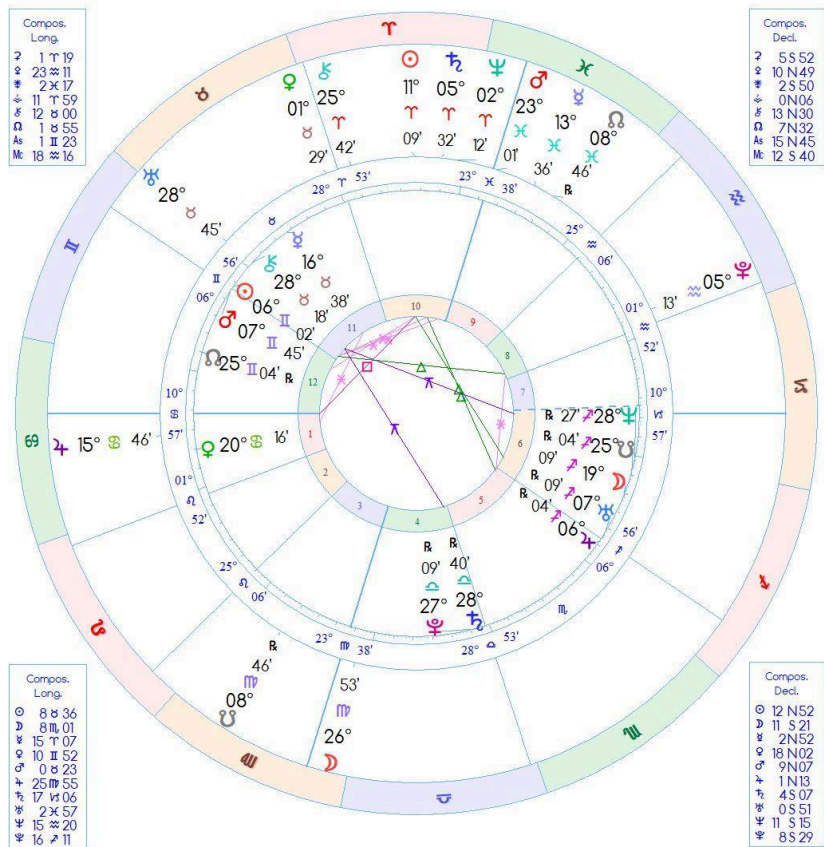
28 May 1983  
35° N 42° 139° E 46  
Tropical Placidus  
NATAL CHART

6:58  
Standard Time

Outer Wheel:  
Transit  
Tokyo, Japan  
Time Zone: 9 hours East

1 April 2026  
35° N 42° 139° E 46  
Tropical Placidus  
NATAL CHART

6:00  
Standard Time



## ■プログレス図の例

Inner Wheel:  
Midori Murakami  
Tokyo, Japan  
Time Zone: 9 hours East

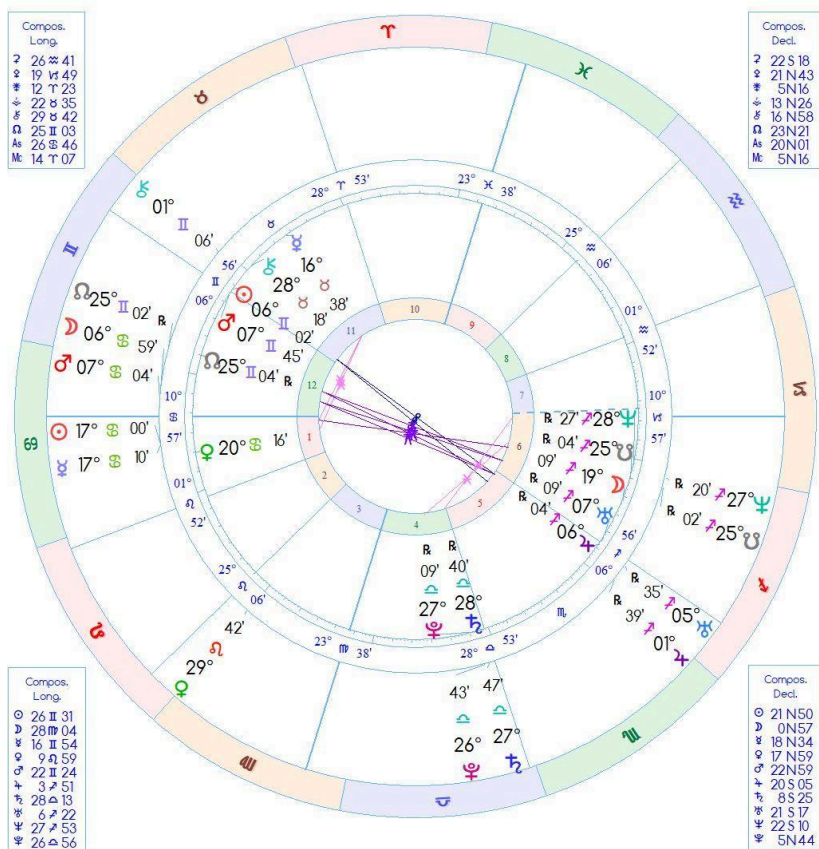
28 May 1983  
35 N 42 139 E 46  
Tropical Placidus  
NATAL CHART

6:58  
Standard Time

Outer Wheel:  
Midori Murakami  
Tokyo, Japan  
Time Zone: 0 hours West

Calc: 9 July 1983  
35 N 42 139 E 46  
Tropical Placidus  
Secondary Progression for 14 April 2026 at 12:00 GMT

19:09:08 GMT  
Greenwich Mean Time



### ③シナストリー図とコンポジット図（相性講座で学ぶ内容）

用途：人同士の相性を知る

例）「どんな違いがあるか・どんな影響を与え合うか」

「一緒にどんなエネルギーを生み出すか」

人同士の相性は一生涯を通しての大きな関心事ですが（恋愛、結婚ではなく、家族関係や友人関係など、「相性」がテーマとなる場面はたくさんありますからね）、そういったところを探れる技法が相性講座で学ぶ「シナストリー（相性図）」と、「コンポジット（合成）」という二つの技法です。

シナストリーは2人分のネイタルを重ね合わせて相性を見る技法です。お互いのネイタルのどこにお互いの天体が配置されているかを見ることで、いわゆる相性の分析ができます。

また、コンポジットは2人のネイタルをお互いの中間値で合成（合体させる）し、「この2人の関係性があらたに生み出すエネルギー」を表す図を作る技法です。

シナストリー図は「相性図」、コンポジット図は「合成図」とも言います。これらをあわせて見ることで、恋愛・結婚・ビジネスパートナーシップなどの対人関係全般を読み解くことが可能になります。

## ■シナストーリー図の例

Inner Wheel:  
Midori Murakami  
Tokyo, Japan  
Time Zone: 9 hours East

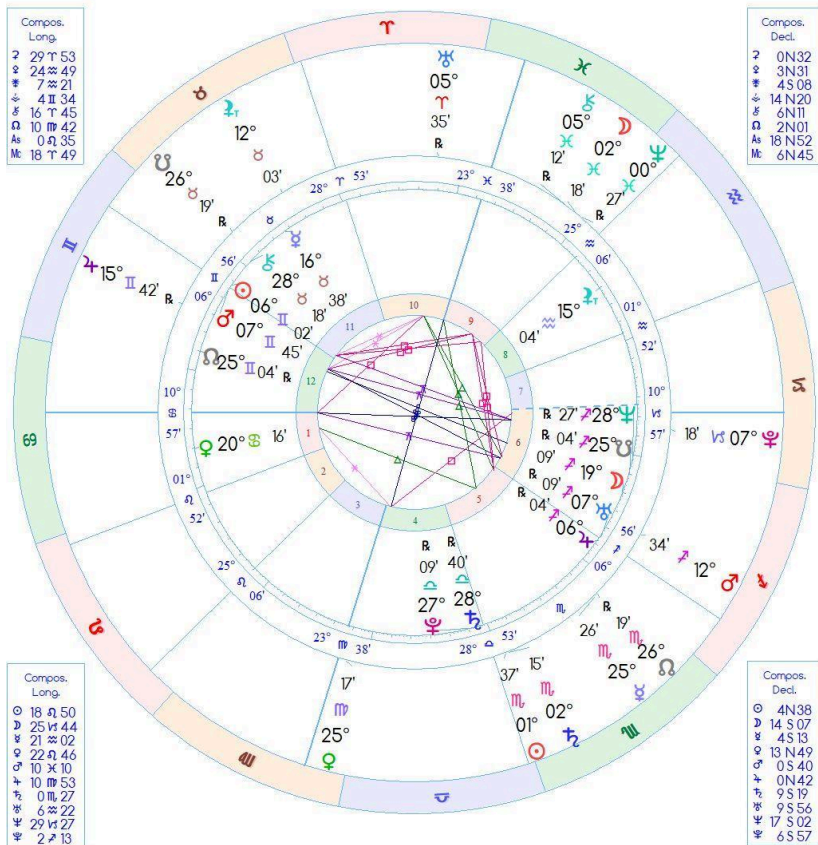
28 May 1983  
35 N 42 139 E 46  
Tropical Placidus  
NATAL CHART

6:58  
Standard Time

Outer Wheel:  
Midori's daughter  
Kumagaya, Japan  
Time Zone: 9 hours East

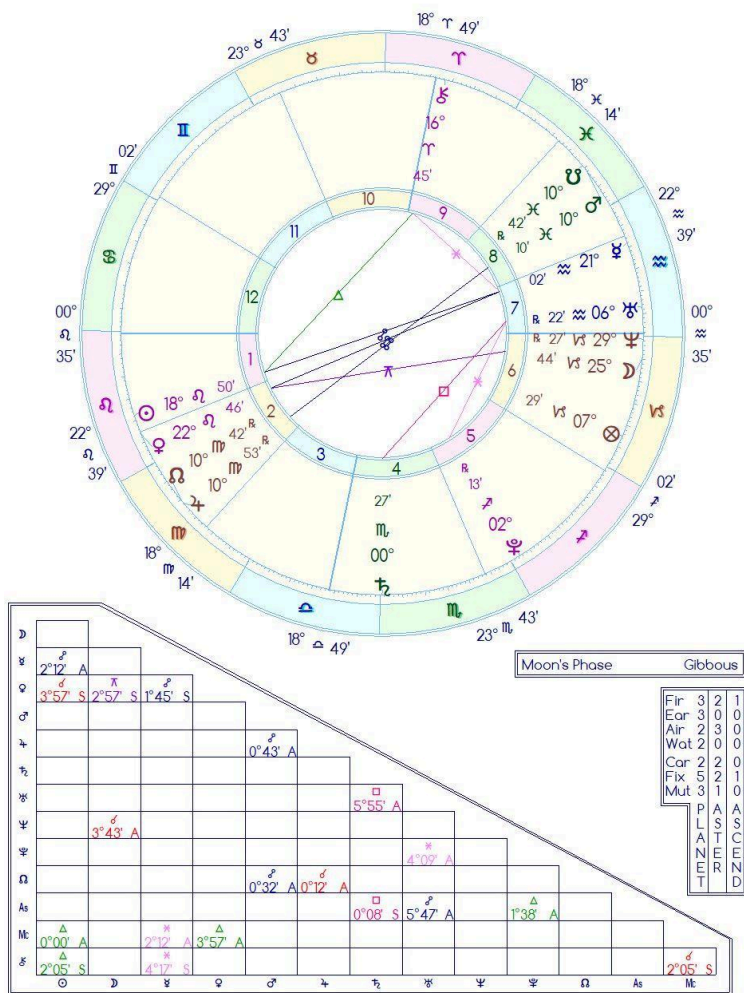
25 October 2012  
36 N 08 139 E 23  
Tropical Placidus  
NATAL CHART

0:15  
Standard Time



## ■コンポジット図の例

Composite (Asc Midpoint)  
Chart 1: Midori's daughter NATAL CHART Chart 2: Midori  
Murakami NATAL CHART



## チャートの種類まとめ

| 種類                | 目的                            | 本講座での扱い |
|-------------------|-------------------------------|---------|
| 出生図（ネイタル）         | その人の性質・資質・<br>人生テーマを知る        | 本講座のゴール |
| トランジット・<br>プログレス  | 時間軸タイミング or 内的成長からのタイミング・未来予測 | 発展講座で学ぶ |
| シナストリー・<br>コンボジット | 2人の相性・関係性<br>生み出すエネルギーを知る     | 相性講座で学ぶ |

## ホロスコープってこんなものー地球からの視点で見た天空の地図

ホロスコープを作成するとき、わたしたちは地球を宇宙の中心に置いて考えます。実際には太陽が太陽系の中心ですが、占星術では「地球から見てどの方向にどの天体があるか」という視点を取ります。これを「地球中心説（ジオセントリック）」と言います。

天球（空全体を球体とみなしたもの）には、太陽・月・惑星が通る通り道があります。それが黄道（こうどう）です。黄道は360度の帯状の領域で、この黄道帯を30度ずつ12等分したのが12のサイン（星座）です。

## なぜ「円形」なのか

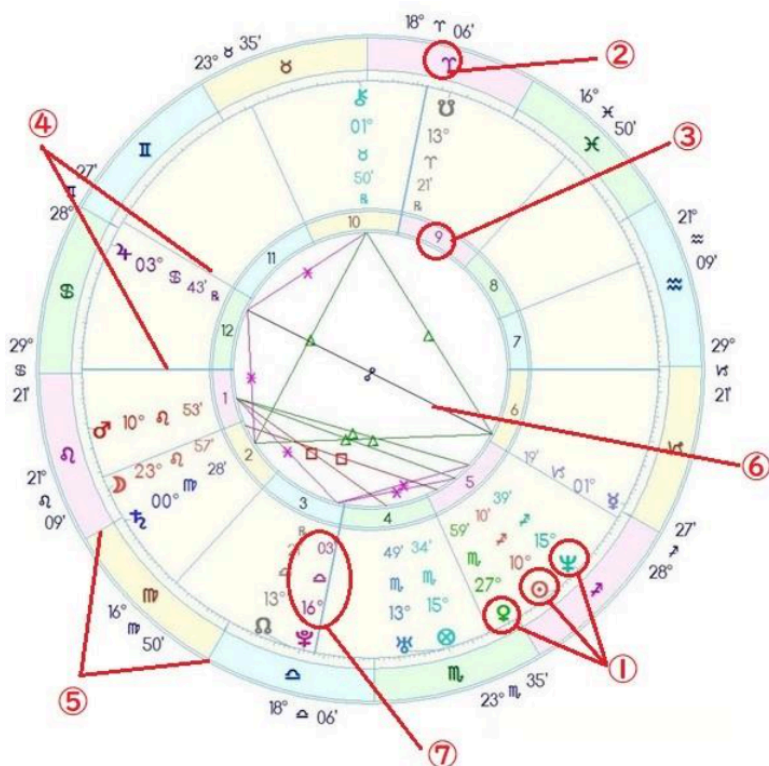
ホロスコープが円形をしているのは、天球全体（360度）を表しているからです。円の中心が地球、外側の円が天球を表しています。



実際のホロスコープを見ると、外側の大きな円の中にいくつかの同心円があり、記号や数字が書き込まれています。これがそれぞれの天体の位置や、サイン・ハウス・天体の度数などを示しているのです。詳しくはおいおい解説しますのでご安心を。

## ホロスコープの各部名称を知ろう

ホロスコープには7つの主要な構成要素があります。それぞれの役割をまず大まかに理解しておきましょう。



| 構成要素      | 英語名              | ひとことと言うと                   |
|-----------|------------------|----------------------------|
| ①天体・感受点   | Planets / Points | 何を担当するか（パーツ）               |
| ②サイン      | Signs            | どんなエネルギーか（性格）              |
| ③ハウス      | Houses           | どの人生領域か（舞台・場面）             |
| ④ハウスカusp  | House Cusp       | ハウスとハウスの境界線                |
| ⑤サインカusp  | Sign Cusp        | サインとサインの境界線                |
| ⑥アスペクトライン | Aspect Line      | 天体同士が形成する角度を、わかりやすく視覚化したもの |
| ⑦度数       | Degree           | 天体がどこにいるかの住所               |

## 各要素のくわしい説明

### ①天体・感受点（Planets / Points）

太陽・月・水星・金星・火星・木星・土星・天王星・海王星・冥王星の10天体を中心に、アセンダント・MC（ミッドヘブン）・ノースノード（ドラゴンヘッド）・キロンなどが含まれます。「その人らしさ」を作るパーツたちで、人間の心や行動を担当する「役者」のようなものです。

また、ノースノードやサウスノード、パート・オブ・フォーチュンなどは天体ではありませんが、占星術上の一定の計算式で導き出される重要なポイントです。

### ②サイン（Signs）

いわゆる12星座のことで、天体にキャラクターを与えるエネルギーです。ホロスコープの一番外側の円に牡羊座、牡牛座、双子座、蟹座、獅子座、乙女座、天秤座、蠍座、射手座、山羊座、水瓶座、魚座の順番に記号が並んでい

ます。「役者がどんなキャラクターで演技をするか」を決める要素とも言えるでしょう。

各サインとも必ず0～29度の30度ずつに分割されています。

### ③ハウス (Houses)

1～12番まである「部屋」で、天体の力が発揮される人生の領域を表します。仕事・恋愛・家庭・お金など12の人生ステージに対応しています。「役者がどの舞台（場面）で演じるか」を表す要素です。

なお、サインとはちがい、それぞれの広さはきっかり30度区切りというわけではありません（イコールハウス方式算出を除く）。そのため、各ハウスの大きさは人によって大きかったり小さかったりしますが、ハウスの大小が単純に吉凶に直結するわけではないので注意しましょう。

### ④ハウスカスプ

ハウスとハウスの間の区切り線のことです。第1、第4、第7、第10ハウスのカスプは「アングル（軸）」と呼ばれ、感受点としても扱われる重要な部分です（なので見ていただくとわかる通り、これらのカスプのみちょっとだけ太く表示されています）。アングルについては第4章で学習します。

### ⑤サインカスプ

サインとサインの間の区切り線のことです。

### ⑥アスペクトライン

ホロスコープの内側（中央部）に引かれた線です。2つの天体が特定の角度を形成しているとき、線の色や種類でその角度の種類を視覚的に示します。

## ⑦度数

天体の位置を「〇〇座△度□分」という形で示す数字です。360度の天球を30度ずつ12等分した各サインの中で、天体がどこにいるかを具体的に示します。

### 天体の「住所」の読み方

天体の住所は「サイン・度数・ハウス」の3点セットで読みます。

例：「太陽が射手座の10度、第5ハウスにある」

- 何を担当するか：太陽（表の顔・生き方のテーマ）
- どんなキャラで：射手座（自由・探究心・おおらか）のエネルギーで
- どの領域で：第5ハウス（娯楽・恋愛・創造）の場面で発揮される

この「天体×サイン×ハウス」の組み合わせを読み解くことが、ホロスコープリーディングの基本です。

### 天体の度数の読み方

天体の度数は「〇〇座△△度□□分'」という形で表します。

- 〇〇座 ... どのサインにいるか
- △△度 ... そのサインの中の何度目か（0～29度の30度刻み）
- □□' 分... そのサインの中の何度何分目か（0～59分の60分刻み）

図の天体の記号を見ると、どれもその内側にサインの記号があり、大小の数字がそれをはさんでいます。これが「度数」で、それぞれ大きい方が「度」、小さい方が「分」を表しています。ですので、P26の図の太陽は、「射手座の10度10分にある」と読みます。

また、太陽は第5ハウスの範囲内にありますので、図の太陽は「第5ハウスにある（＝入室している）」となるわけです。

なお、同じ図の月であれば「獅子座23度57分・第2ハウスにある」、金星であれば蠍座27度59分・第5ハウスにある」、木星であれば「蟹座3度43分・第12ハウス」にあるとなります。

ちなみにホロスコープのまわりにある12個の度数は、それぞれのハウスカスプが何座の何度何分にあるのかを示していますが、これに関してはハウスの章でくわしく学習します。

## 逆行（リトログレイド：Rx）とは

天体が通常とは逆方向に動いているように見えるとき、それを「逆行」と言い、天体記号の脇に「R」と記されます。

太陽と月は逆行しません。水星は年に3回、金星は約1年半に1回・火星は約2年に1回逆行します。外惑星（木星以遠）は1年のうち数ヶ月逆行します。

ネイタルに逆行天体を持つ人は、多ければ多いほどそのテーマを「内側で深く処理する」「風変わりである」傾向があると言われています。外向きに表現するのが苦手な場合もありますが、内省が深く独自の洞察を持つことも多いです。

## ホロスコープの構成要素をざっくり予習しよう

ホロスコープの読み方をドラマに例えてみると、このような感じです。

- **天体** = 役者（どんな人物か）
- **サイン** = キャラクター（どのような役か）
- **ハウス** = 場面・シーン（どこで演じるか）
- **アスペクト** = 役同士の相関関係（仲良しか、ケンカするか）

「主人公（太陽）は、明朗快活で直情的（牡羊座）、グループ（第11ハウス）の中心にいる」のか、「主人公（太陽）は、母性的で（蟹座）、家庭を（第4ハウス）大事にする」のかでは、同じ主人公でも全然違う脚本になりますよね。ホロスコープもこれと同じです。

以下ではこれから学習するホロスコープの各要素、天体、サイン、ハウス、アスペクトについてざっくり一覧表にしています。追ってひとつずつ深掘りしていくので、今の段階ではすべて覚えなくてOKです。「こんなことをこれから学習するんだな～」という感じで、さらっと読み進めてください。

## 第2章：サイン

### 天体にキャラクターを与えるエネルギー

サインとはいわゆる「12星座」のことです。前の章で天体はその人らしさを作るパーツであることをざっくり学びましたが、サインはそんな天体たちそれぞれに「キャラクター」を与えます。

いわば、サインは12種類の超個性的なエネルギー。

サインは天体のエネルギーを、「どういう風に発揮するか」というところを示すのです。

例えば火星は「自己主張」を表す天体でしたが、属しているサインによって、どんなふうに自己主張するか」がわかります。

牡羊座のサインにあれば、「直接的な感情や体を使って戦う」かもしれません。双子座のサインにあれば「議論して戦う」のが得意でしょうし、山羊座であれば「ルールや正論を振りかざして戦う」でしょう。

ここではそれぞれのサインがどんなエネルギーを持っていて、天体にどんなキャラクターを持たせるかを、一通り学んでいきます。

学習にあたって、それぞれの星座ごとに身近にいる太陽星座（いわゆる「わたしは〇〇座です」の星座）が同じ人を思い浮かべると、より理解が深まりやすいかもしれません。いわゆる擬人化です。

## サインとは何か

サインとは、いわゆる「12星座」のことです。ただし、西洋占星術ではいわゆる「わたしは〇〇座です」という一般的な星座占いよりも、もっともっと深い読み方をします。

**サインは天体のエネルギーを「どういう風に発揮するか」を示すものです。**

たとえば「太陽が牡羊座にある」なら、「自分らしさ（太陽）を、真っ直ぐ積極的に（牡羊座）発揮する」という読み方をします。「月が魚座にある」なら、「感情（月）が、共感力豊かにやわらかく（魚座）表現される」という読み方をします。

各サインは「12種類のエネルギーの性質」であり、天体に「個性の色」を与えるものです。

次ページから12サインについてひとつずつ、詳しく解説していきますね。

※なお、先ほどお伝えしたようにサインは「擬人化」すると覚えやすいです。こんな人、いるなあと思い浮かべながらそれぞれ読み進めてみてください。



## 牡羊座（Aries） 「私は存在する」

| 項目         | 内容                                                                                |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 記号         |  |
| キーワード      | I am（私は存在する）                                                                      |
| ルーラー（支配星）  | 火星                                                                                |
| ポラリティ（二区分） | 陽（外向き）                                                                            |
| モダリティ（三区分） | 活動宮（Cardinal）                                                                     |
| エレメント（四区分） | 火（Fire）                                                                           |
| 志向         | パーソナル                                                                             |

### テーマとなる根本的な欲求・衝動...「独立と主体性」

牡羊座のエネルギーの根底にあるのは、「存在したい」「前へ進みたい」「ゼロから始めたい」という原初的な衝動です。羊の角が象徴するように、目の前に障害があっても正面から突破しようとするのが牡羊座の本質です。

12星座の最初に位置する牡羊座は、まるでこの世に生まれたばかりの赤ちゃんのような、純粋で力強いエネルギーを持っています。過去にとらわれず、常に「今ここ」から未来を切り開く力。それこそが牡羊座の最大の才能です。

## 長所・強み

### 行動の速さ・圧倒的な決断力

思ったことをすぐに行動に移せるスピード感があります。複雑な議論を重ねるより先に「まずはやってみる」ことができる実行力の人です。

### パイオニア（先駆者）精神

誰も足を踏み入れたことのない未知の領域に挑戦することを恐れません。新しい道を自らの手で切り開く力があります。

### エネルギーッシュな推進力

困難な状況でも不思議なほどスタミナが続きます。特に自分が「やりたい！」と心が燃えたときの突破力は圧倒的です。

### 率直さと嘘のない正直さ

思ったことをストレートに伝えられます。裏表や嘘をつくことへの嫌悪感が強く、人間関係における透明性と潔さを大切にします。

### リカバリーの速さ

万が一失敗しても、いつまでもくよくよ引きずりません。「よし、次！」と素早く気持ちを切り替える力は、他のサインには真似できない天性の才能です。

## 短所・課題

### 短気と衝動性

物事を深く考え抜く前に動き出してしまうため、後から「しまった……」と気づくことがあります。特に瞬間的な怒りのコントロールが課題になりやすい傾向です。

## 持続力の欠如（飽きっぽさ）

「始めること」が得意な反面、同じことを長く続けるのが苦手な場合があります。勢いが落ち着いた後の継続性をどう生み出すかが成長のカギとなります。

## 自己中心性

「自分が」「自分は」という意識が強くなりすぎると、周囲の気持ちや状況に配慮するゆとりがなくなることがあります。

## 独りよがりな単独行動

周りのペースや意見を待てずに一人で突っ走ってしまい、気づけばチームから浮いてしまうことがあります。

## 長期的な計画性の弱さ

先を見通す戦略よりも「今この瞬間の直感」を優先するため、地道で長期的な計画を立てるのが苦手な傾向があります。

## 日常生活での現れ方

牡羊座エネルギーが強い人の日常を想像してみましょう。

職場で新しいプロジェクトの話が出たとき、真っ先に「私、やってみます！」と手を挙げるのが牡羊座タイプです。会議で問題点が出たときも、延々と議論するより「とりあえず試してみましょう」と即行動に移します。レストランでもメニューをじっくり選ぶより、直感でパッと目についたものを頼みます。

一方で、勢いよく始めたプロジェクトが長期化・ルーティン化してくると、だんだん関心が薄れてくることも。「誰か得意な人に引き継ごう」と感じたら、さっさとバトンを渡して次の新しい挑戦に向かうのも、実に牡羊座らしい行動パターンです。

## 恋愛・人間関係での特徴

**恋愛：**非常に積極的で、好きな人ができたらストレートにアプローチします。「振られたらどうしよう」と悩むよりも「好きなら伝えなきゃ！」という衝動が勝ちます。「追いかける恋」を好み、お互いに情熱をぶつけ合えるエネルギッシュな関係を求めます。

**人間関係：**シンプルでオープンな付き合いを好みます。駆け引きや腹の探り合いは苦手で、裏表なく正直に接するため、一度深い信頼関係を結ぶと驚くほど誠実で頼もしい味方になります。

## 仕事・キャリアでの特徴

牡羊座のエネルギーが最も生きるのは、「**最初の一步**」や「**突破力**」が求められる分野です。

- **適性のある分野：**起業家、新規事業開発、営業のフロントライン（新規開拓）、スポーツ選手、緊急を要する職種（救急・消防・レスキューなど）
- **苦手を感じやすい環境：**長期にわたる地道なルーティン作業、多くの関係者との細かな調整や根回しが必要な職場

## ■ポジティブキーワード

行動力のある、直感的な、先駆性のある、情熱的な、勇気のある、即断する、即行動する、闘争心のある、主体性のある、自立した、開拓精神のある、スピード感ある、率直な、正直な、衝動性の強い、ストレートな、負けず嫌いな、チャレンジ精神旺盛な、エネルギッシュな、単純明快な、勝負勘

の鋭い、自己主張が強い、冒険心あふれる、熱しやすい、決断力ある、リーダー気質な、本能的な、独立心あふれる、パワフルな

### ■ネガティブキーワード

短気な、せっかちな、衝動的な、自己中心的な、攻撃的な、独断的な、無鉄砲な、我慢のきかない、早とちりな、落ち着きのない、競争心が強すぎる、負けず嫌いすぎる、強引な、自分勝手な、配慮に欠ける、売り言葉に買い言葉になりやすい、熱くなりすぎる、ムキになりやすい、飽きっぽい、継続力に欠ける、突っ走りやすい、後先を考えない、反省が浅い、我先に動く、協調性に欠ける、人の話を聞かない、すぐカッとなる、プライドが高すぎる、白黒つけたがる、空回りしやすい

## 第1ハウス「自分自身・人生の入り口」

| 項目    | 内容           |
|-------|--------------|
| 分類    | アンギュラーハウス（強） |
| 対応サイン | 牡羊座          |
| 志向    | パーソナル        |

本人の自己イメージに深く関わるハウスです。自分自身、第一印象、容貌、人生への向き合い方、無意識に他者に見せる表の顔を担います。「私はどういう人としてこの世界に立つのか」を示す領域であり、ネイタル全体の出発点でもあります。

なお、カスプはASC（アセンダント）となり、そこにかかるサインを「アセンダントサイン（上昇宮）」といいますが、「アセンダントサイン」はその人のキャラクターを分析するにあたって、最重要といえる要素の1つです。

またこのハウスに天体が入る場合、その天体の性質が、その人の気質やイメージに多大な影響をあたえます。

### ■キーワード一覧

自分自身、自己イメージ、第一印象、ペルソナ、容姿、容貌、体格、身体的特徴、外見、雰囲気、個性、自分らしさ、公の姿、周囲から見た自分、人生への態度、行動の出発点、若年期、世渡りのスタイル、生き方の癖、持ち前の気質

## 天体が入った場合の解釈例

**太陽：**「自分らしく生きること」そのものが人生の中心テーマになりやすく、堂々とした強い存在感が前面に出ます。

**月：**感情が素直に表情や態度に出やすく、周囲の空気や反応に対して非常に敏感で親しみやすい印象を与えます。

**水星：**知的でフットワークが軽く、話しやすい印象を与えます。好奇心旺盛で観察眼に優れます。

**金星：**魅力的で愛嬌があり、自然と人に好かれる華やかさや美意識が外見や雰囲気表れます。

**火星：**エネルギッシュで行動力・自己主張が強く、スピーディーで勢いのあるキャラクターとして見られやすいです。

## 空室の場合

第1ハウスに天体が入っていない場合でも、「自分らしさ」や「第一印象」が薄いわけではありません。

その場合は、①**第1ハウスカスプ（アセンダント）のサイン**、そして②**そのサインのルーラー（支配星）がどのハウス・サインにあるか**を追いかけることで、「どのような印象を持たれやすいか」「人生をどう切り開いていくか」を正確に読み解くことができます。

# 太陽（Sun） 「表の顔・人生のテーマ」

| 項目     | 内容                                                                                |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 記号     |  |
| 種別     | ベネフィック（吉星）                                                                        |
| 支配サイン  | 獅子座                                                                               |
| 通過スピード | 約1ヶ月（12ヶ月で12サインを一周）                                                               |
| 象徴するもの | 生命力、自己実現、意識、父親像、男性性                                                               |

## 太陽が示す「その人らしさ」と人生の役割

太陽は、その人の「自分らしさの根っこ・人生の中心軸」を示す最重要天体です。

太陽のサイン（星座）を見ることで、その人が社会や公の場でどのように振る舞い、何を人生の活力源（モチベーション）にしていくかが分かります。

また、**太陽が入るハウス**を見ることで、「どんな舞台・領域に立つことで最も自分らしく輝けるか」という人生のメインテーマを読み解くことができます。



- **ポジティブに働く**と：サインの資質を活かし、主体的・創造的に人生を切り拓くバイタリティとなります。
- **ネガティブに出ると**：サインの性質が過剰になり、独りよがり・自己中心的・自己主張の押し売りになってしまうことがあります。

## 【「表の顔」と「月（プライベート）」の違い】

太陽が示すキャラクターはいわば「社会用・公的な表の顔」です。対照的に「月」は素の自分やプライベートを示します。大人になると社会に関わる時間が長いので太陽を主軸として生きていますが、まだ社会基盤を持たない**子供（特に7歳以下）の頃は、太陽よりも「月」のサインの特徴が強く出やすい**のが特徴です。

（※ホロスコープ解説では、この①太陽、②月、③アセンダント（Asc）の3つを最優先で読み解きます）

なお、太陽は人物象として男女問わず「父親」、また女性のホロスコープにおいては「理想の夫像」を表すポイントでもあります。

## よくある誤解・読み間違えやすいポイント

**「太陽星座が〇〇座だから、必ずこういう性格のはずだ」と決めつけるのは早計です。**

「自分は太陽星座の性格があまり当てはまらない」と感じる人が多いのは、月や他の天体の影響が強く出ているからかも。太陽は「生まれながらに自動的に発揮されている性格」というよりも、「意志を持って人生をかけて育てていく目標・テーマ」という感覚に近いのです。

## 人生においてどんな役割を果たすか

太陽は「その人が人生でどう輝くか」「どのように自己実現するか」という中核的なテーマを示します。太陽のサインが示す方向で自分を表現し、生きること、その人は最もエネルギーに満ち充実感を感じます。

「表の顔」というのは、「社会の中で意識的に表現している自分」という意味です。他者から見えるプロフェッショナルな顔・父親や母親としての顔・仕事上の自分、そういった「役割を演じている自分」に近い部分です。

また太陽は生命力・バイタリティの源泉でもあります。太陽のサインに沿った生き方ができているとき、人は自然とエネルギーに溢れています。逆に太陽のテーマから外れた生き方をしていると、疲弊感・虚無感が生じやすくなります。

## よくある誤解・読み間違いやすいポイント

「太陽星座が獅子座だから、必ず明るくて目立ちたがりなはず」と決めつけるのは早計です。太陽は確かに「社会的な表の顔」を示しますが、月や他の天体の配置によって、実際の行動はずいぶん異なります。

また「太陽星座が自分に当てはまらない」と感じる人も多いですが、それは月や他の天体の影響が強く出ているためかもしれません。特に未就学児にあたる年齢のお子さんは、太陽よりも次で扱う月のキャラクターの方が強いでしょう。

太陽はあくまで「意識的に目指していくテーマ」。生まれながらに完全に発揮されているものというよりも、むしろ人生をかけて太陽のテーマを育てていくイメージなのです。

## 太陽のキーワード

表の顔、基本的なキャラクター・アイデンティティ、人生で目指すもの、人生を切り開く力、活力源、創造的可能性、(男女問わず)父親、(女性の場合)理想の夫像、夫、個性、野心、統率力、想像力、独立心、権力への衝動、表現力、実行力、生命力

## ■ワーク4「わたしの太陽を読み解いてみよう」

自分の「人生の輝き方」を言語化する

## ■各サインにある太陽の解釈例

| 太陽のサイン | 一言キーワード | 自己実現のスタイル         |
|--------|---------|-------------------|
| 牡羊座    | 先駆者・行動  | 最初の一步を踏み出すことで輝く   |
| 牡牛座    | 安定・感覚   | 確かなものを積み上げることで輝く  |
| 双子座    | 知識・伝達   | 学び伝えることで輝く        |
| 蟹座     | 感情・養育   | 大切な人を守り育てることで輝く   |
| 獅子座    | 表現・創造   | 自分らしく輝きを放つことで輝く   |
| 乙女座    | 分析・奉仕   | 丁寧に仕事を仕上げることで輝く   |
| 天秤座    | 調和・美    | 関係性を美しく整えることで輝く   |
| 蠍座     | 変容・深化   | 本質を追求し変わり続けることで輝く |
| 射手座    | 探究・自由   | 広い世界を探究することで輝く    |
| 山羊座    | 達成・構築   | 着実に社会に貢献することで輝く   |
| 水瓶座    | 革新・博愛   | 独自性で世界を変えることで輝く   |
| 魚座     | 共感・超越   | 見えない世界と繋がり癒すことで輝く |

## ■各ハウスにある太陽の解釈例

| 太陽のハウス | 自己実現の領域                                          |
|--------|--------------------------------------------------|
| 第1ハウス  | 「自分自身」の存在を通じて輝く。個性が強く、存在感がある。                    |
| 第2ハウス  | 「財産・才能・価値」を積み上げることで輝く。歩みは遅くともコツコツ築き上げることを大切に生きる。 |
| 第3ハウス  | 「学び・言葉・コミュニケーション」で輝く。学習や人との交流が生きる力。              |
| 第4ハウス  | 「家庭・家族・ルーツ」を通じて輝く。プライベートを大切に生きる。                 |
| 第5ハウス  | 「創造・恋愛・遊び」を通じて輝く。楽しむことが人生の中心。                    |
| 第6ハウス  | 「仕事・奉仕・健康」を通じて輝く。奉仕や日々の積み重ねが人生の柱。                |
| 第7ハウス  | 「パートナーシップ・他者との関係」を通じて輝く。社会や他者との繋がりが生きる原動力。       |
| 第8ハウス  | 「変容・深化・共有」を通じて輝く。人生の大きな転換を経て輝く。                  |
| 第9ハウス  | 「精神・高度な学び」を通じて輝く。遠いものへの憧れが原動力。                   |
| 第10ハウス | 「社会・キャリア・自己実現」を通じて輝く。世の中で認められることが喜び。             |
| 第11ハウス | 「仲間・理想・ライフワーク」を通じて輝く。大きなビジョンで人を導く。               |
| 第12ハウス | 「見えない世界・精神・奉仕」を通じて輝く。縁の下の力持ちとして深く輝く。             |